

JCD-KANSAI

Japanese Society of Commercial Space Designers

昭和60年 5月
第 5号



関西支部 集会 奈良で開催

(昭和60年4月13日)

桜の散り残っている木々の間に散在する百楽荘にて去る4月13日(日)開催されました。上本町・難波から近鉄奈良線で富雄下車、高台にむけて登ったところに、中国福建省に存在したと伝わる長寿門を模した、八角の門をく

ぐり、正会員及賛助会員、合わせて約40名の集会となりました。

当日は午後1時より、理事会が、同荘で先に開催され関東から九州まで各理事の出席で議事進行、協議があり、緑したたる和室で、開催され又いつもの雰囲気とちがった理事会でした。昨年の京都につづいての集会で関西

熱線80%カットのクールな光

Nashop OPTICS SERIES 光学設計照明器具 **ダイクールオプティカル**

●お問い合わせは、———松下電工株式会社 電材事業本部マーケティング部(〒571)大阪府門真市門真1048 ☎(06)908-1131へ。

ではいろいろと組織委員会がその運営にご苦労していただきました。

日頃近くにあって皆様の知られない生駒の丘陵に広がる数万坪に今様ペンション風である当時貸別荘として建てられた十数棟の純日本式数寄屋造りの一棟で桜と新緑の合間をみるように、我々も造形、環境のすばらしさをプラスするこの一室で皆様と会食集会を過しました。

事前に約4時間、理事会が開催されましたが渡辺理事長のご病欠欠席のため高村、赤松副理事長が議長として奥協専務理事の各報告を審議し予定通り終了しました。

議事は支部事業報告、新入会員推せん、商業施設技術団体連合会に関する件、来年度総会中国支部担当開催に関する件、等会名変更に伴う夫々の支様の推進と新しい協会の体質強化に向け、意見交換とその実施に向けて精力的協議の理事会でありました。

新賛助会員を含め40名の集会は理事長不在ではありましたが、全員一致した気持で日

頃は名のみ知っていても夫々の同じレベルでお会いできた機会をとらまえ、各支部の空気に触れられ美しい室内と味のよい料理を前になごやかな一刻でした。

要委員長の歓迎の詞ののち奥協専務理事の乾杯でスタートした集会は、賛助会員の紹介を含め絶好のコミュニケーションの場としてその目的を達することができました。

この料理のために焼かれた硬い陶板に山海の珍味が焼かれ、夫々の独得のタレで、口にする風流な味は、お給事の方と共にそのテーブル毎に話しのうずが拡がりました。

春のおぼろ月がほてった顔に照り明日の奈良散策、スケジュールを持ちつつ解散となりました。

大阪からわずか30分でこんな環境に恵まれたところがあったのか？ 自然と共に、四季と共に我々もその恵まれた中で今后共皆様と手をたずさえて協会の運営、推進に努力しようではありませんか。関西支部組織委員会の皆様大変ごくろうさまでした。

(MO記)



商業空間を演出する
yamagiwa

大阪店・06(643)2111〈大代〉 神戸店・078(241)2111〈代〉

正会員推薦入会年間 正会員、賛助会員のご推薦・ご紹介のお願い

当組織委員会では、昨年に引き続き本年も会員及び賛助会員の拡充運動を実施しております。

新しいパワーのある会員、賛助会員の方々の入会によってより活力のある協会（支部）運営またニューパワーの参入により協会としての新しい方向性が生じるものと思われまます。つきましては、この機会に予てより当協会に正会員として参加いただきたかった第一線でご活躍の各位に対し「推薦入会手続」をもって入会のご案内を差し上げることいたしましたのでなにとぞご了承の上、よろしくご参加くださるようお願い申し上げます。

※推薦入会手続について

正会員の認定には、作品・論文などの審査がありますが特例として提出資料の省略規定があります。

推薦入会手続とは、この適格者に対するものです。したがって入会申し込みには次の3点を提出くだされば結構です。

- 1) 入会申込書
- 2) 業務経歴書
- 3) 自己写真（2枚）

なお、今回4/10の資格審査会において関西支部では新しい正会員を22名入会認定いたしました。

当委員会の目標（2年間で40名）に半分以上という結果となりあと少しの頑張りで目標の達成ができそうです。

ぜひご理解の上、今一度正会員1名、賛助会員1社のご推薦ご紹介を賜りますようにご協

力をお願いいたします。

JCD関西支部
（組織委員会）

'85年4月新入正会員及び賛助会員

<正会員>

- ・山本市治 旭店舗設計研究所
- ・秋本正之 ㈱布谷
- ・藤永 肇 ㈱布谷
- ・原田欣典 ㈱布谷
- ・杉野治良 ㈱布谷
- ・永瀬純治 ㈱ペリタス
- ・角田吉高 アトリエ来夢
- ・平井 進 ㈱平井生活デザイン研究室
- ・大和和男 オフィストライアドオオワアトリエ
- ・伊藤 司 壇建築設計事務所
- ・高田博充 第一建設工業㈱
- ・渦居 茂 ウズイデザインズ
- ・西村憲一 松下電工㈱
- ・西沢嘉信 アビタ建築デザイン事務所
- ・水野修士 ㈱総合デザイン企画
- ・横山裕二 ADS計画研究所㈱東洋デザイン
- ・神戸一生 ㈱商業計画研究所
- ・見崎征之 ミサキデザイン
- ・宮崎信夫 ㈱西脇設計
- ・小宮容一 K&Kアーキテクト
- ・長岡 茂 ㈱西脇設計
- ・桜井敬三 ゼニヤデザインセンター

<賛助会員>

- ・小野田セメント
- ・第一建設工業㈱

NOMURA
display

株式会社 乃村工藝社

本社/東京都港区芝浦4丁目6番4号/(03)455-1171大代表 ☎108
東京/東京都港区芝浦4丁目6番4号/(03)455-1171大代表 ☎108
大阪/大阪市浪速区元町1丁目2番6号/(06)633-3331大代表 ☎556
東京・大阪・札幌・仙台・横浜・岐阜・神戸・岡山・広島・福岡・鹿児島・シンガポール

豊かさの中で、これからの店づくりを考える

船場 取締役会長 吉田三郎

成熟社会といわれる豊かな時代に入って、小売業はおしなべて売れ行き不振。同業態や異業態との競争も激化する中で、カタログビジネスや無店舗販売だけが注目すべき成長を示している。本当に豊かな時代ならばもっと豊かなものがどんどん売れていいはずなのに、どうした事だろう。

小売業とは——消費者が買物をしやすい便利な場所に店舗を構え、品揃え・陳列・価格・接待の仕方を工夫し、不特定多数の客に販売する——つまり、おカネと商品との交換を効率的に行うという40年代的発想の店舗は、急速に通じなくなってきたことは確かだ。

モノが不足し、欲望がそこにあった時代と違って、これからの成熟社会の販売は大きく二つの方向に広がる。

一つは、ムダ（遊び）の上にムダ（遊び）を重ね、より贅沢なもの（本もの）を求める。生活者を対象にする方向で、これは主に店舗販売が担うこととなる。もう一つは、ムダをはぶき、贅沢を排してシンプルに生きたいという生活者を対象にする方向で、これは主に無店舗販売となる。

この前者を対象にして、人間のより深い欲望（需要）を掘り起こし、贅の限りを尽した成熟時代の文化を創造することがこれからの店舗づくりに課せられた最大のテーマとなる。

したがって、これからは店舗を意識させない店舗づくりの発想が必要である。買物の場と生活の場にある距離感を取り除き、店舗は生活の場・家庭の居間といった感じを抱けるようにし、快適な生活を具体的に次々と提案し続けなければならない。

また、店舗は劇場でなければならない。非日常にドラマを演出し、行ってゐたくなるような情報や提案をしなければならない。そこに楽しみをどれだけ盛り込めるか、追求しなければならない。

良くとも悪くともこれからの店舗は、快樂主義の表現の場、提供の場となっていくだろう。そのためには人間の視覚だけでなく、触覚や聴覚・臭覚・味覚など感性に訴えて、豊かな情緒を演出し、気分を最高にして買いたくなるような環境づくりをしなければならない。それは単に売場環境だけでなく、店舗環境・街の環境を含め、生活環境全体を見なおし作りなおしていくことが必要となってくる。

いま私達は、いち早く過去の考え方や技術を捨て、新しい発想のもとにスタートしなければならないときにある。再び設計家の一人一人がロマンとビジョンをもって、たくましい創造力を発揮できる時代がやってきた。

その新しい店舗の創造力が需要創造になり、先の見えない経済の活性化にも直結する。その役割は重く、使命は重大であると自覚しなければならない。



明日をになう建築用セラミック



志野陶石

SHINO TOSEKI CO.,LTD.

- 本社／〒604 京都市中京区御池御幸町西・北側
TEL.(075)222-2311代
- 大阪営業所／〒540 大阪市東区京橋1丁目O M Mビル8F
TEL.(06)943-1536代
- 京都営業所／〒604 京都市中京区御池柳馬場南西角朝日ビル7F
TEL.(075)255-3020代
- 仙台／東京／名古屋／福岡／高松／広島／盛岡／鹿児島

ツクバで思ったこと

細川泰彦

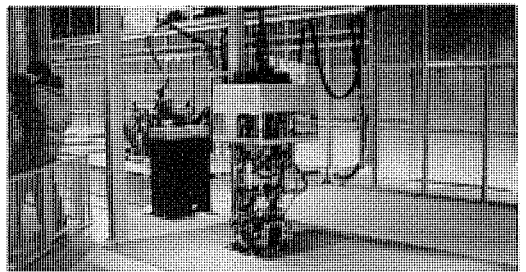
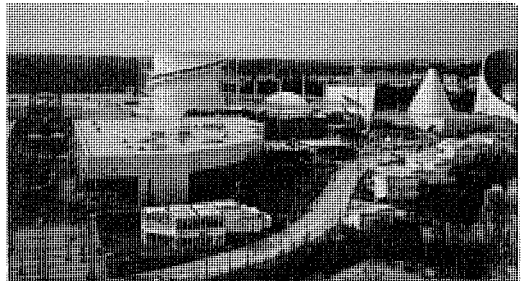
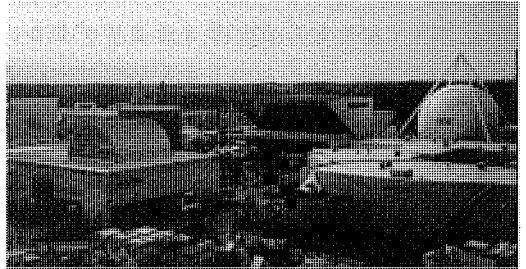
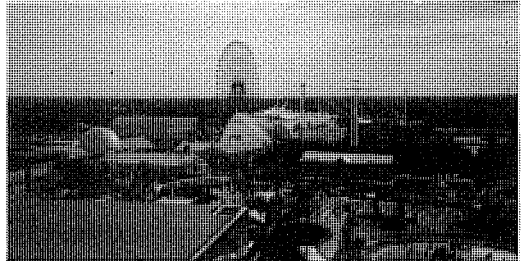
科学万博つくば '85 は、オープン1ヶ月で280万人の入場者を数え、動員目標の2000万人の目処が立ったそうです。関係者にとってなによりも嬉しいことでしょう。たくさんの人々が、たくさんのお時間と、たくさんのお費用をかけ、たくさんのおモノやおコトを繰り広げているこの博覧会について、その印象を一言で言うてしまうのは乱暴ですが、一つ一つ述べていくのは、紙面にも限りがあるので、特に印象に残ったものを2、3挙げてみます。

歴史館に展示されている1号TVのレプリカ。これはあの「イ」の字を映し出し、感動の一瞬を伝えるものです。テーマ館には2足歩行ロボットがあります。ヨチヨチ歩きのかのようで好感がもてますが、これは出展者の意図ではないでしょう。もう一つは、こども広場の日本列島。設計者の竹内均先生も実物を見た時、思わず計算を間違えたと言うぐらい、まあいい地球が実感できます。こうしてみると、私の好みはモノ志向のようです。

情報化時代では博覧会に新奇性を期待する方が間違っているとしても、中には情けなくなるようなパビリオンもあります。たとえばライドに乗せてもらっても、あまりに粗雑な作り物を見せられたり、ただ画面が大きいというだけの映像や、TVではその効果が伝えられないことをいいことにした立体映像などを見ても、ありきたりの科学・技術の見方をトレースするにすぎない内容や、テーマとは無関係にアナクロな内容を展開しているところがそれです。

事物はあやうい文脈の上にその価値を保つ

ているとすると、おもしろいかかそうでないとかは、見る側の心の中にあるといえましょう。ですから、一義的な見方しか許さない、何でもわからせようというケーモー主義ではなく、見る側のかってな見方を許すような事物がやはり楽しいのではないかと思いました。



Hakusuisha

INとOUTを光で結ぶ
いまグラステリアが新しい

ビベルドグラス

AQUA CRAFT

BEVELLED GLASS HAKUSUISHA

株式会社 白水社

(06) 252-4501
(03) 669-1221

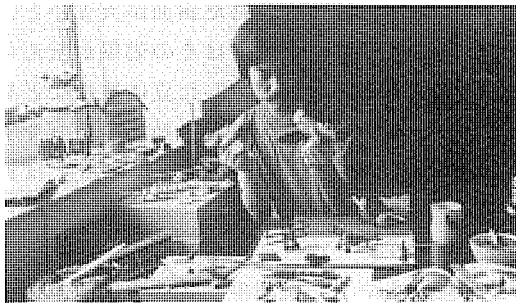
私のものづくり

市川元則

子供の頃からものを作ることが大好きだった。それが今もって続いている。特に趣味と言うことでもない。とにかく気が向けば、何でも作る。時には遊び道具であったり、時には実用のものであったりする。ものがなかった頃に少年期を過した世代に共通した思考だと思う。ものがあふれ過ぎ、いささかうんざりしている現在、尚更手作りを楽しみたいくなる。日常のクリエイティブワークとは別に、伝統工芸を、かたくなに守り続けている職人のわざに対する憧れといったものが、私のものづくりの中にひそんでいる。中途半端なものは、気が済まない。ただしあくまで“気が向けば”である。そのかわり手がけだすと、のみり込んでしまう。次の日の仕事のことなど忘れ、気がつくとき明け方近くになっていることがよくある。最近では、程々にしているが、ものを作るには、道具がいる。私の場合、道具の良し悪しは、あまり問題にしない。ただ、機械類(ジグソー、リューター、サンダーetc)は程んど使わない。使わないと言うより持っていないと言った方が当たっている。唯一の電動工具として、バーゲンで買ったドリル(3900円)がある。あとはあくまで基本的な動作、けずる(カッターナイフ)、ひく(ノコギリ)、たたく(カナヅチ)、みがく(ヤスリ、サンドペーパー)のくりかえしである。自分の手の感覚がたよりなので、決してけづり過ぎたり、切りすぎたりしない。手間ひまはかかるが、出来上がったものは、それだけ手応えがあり、愛着がある。特に木を使ったものが多いので、それぞれ素材感、存在感がある。ここ5、6年は、プラモデル(飛行機1/72、プ

ロペラ機)に熱中していたのが、今年になって、例の気まぐれから得意の木で飛行機を作ってやろうと思い、しばらくプラモ作りを中断し、手なれた木で作りはじめている。

もちろんプラモの様にパーツはない。手持の資料から図面をおこし、木の種類を決め、木取りを決める。コクタン、ローズウッド、ブビンが、ウォールナット・チーク、サクラ等を主に使う。固い木の方が当然のことながら時間をくうが、出来上りは美しい。塗装しなくても砥けばそれぞれの質感が出て味がある。最初の1機目(ジービーレーサーZ、写真左手に持っているもの)は手間どおり、約ひと月かかったが、2機目からは早くなった。ニューポール17、フッカーDr1、と完成し、今4機目。映画“翼よあれがパリの灯だ”で有名な、リンドバークが、ニューヨーク→パリ間無着陸で飛んだ、ライアンM-Y-P、“スピリット・オブ・セントルイス”を製作中である。いづれも古典機と呼ばれているもの。音速をはるかに超え、宇宙を自在に行出来る様になった今でも、人が大空を鳥の様に自由に飛びたいという夢を実現させたころの飛行機は、形も美しく、力強い、作っていてもその時代の人間の夢が伝わってくる。今年一年で何機作れるか楽しみである。いづれ何かの機会におみせ出来ればと思っています。



光と影のコミュニケーション



ヒカリ照明器具

小泉産業株式会社

本社 照明事業部 〒541 大阪市東区備後町3丁目長谷ビル3F TEL 06-262-0861

100号キャンパスに戯れる

柴田邦彦

油絵の楽しさは、描きながら何度もこわしてイジメるところにあります。描いてはこわし、こわしては描く。このプロセスが思わぬ質感や色合いを創り出してくれます。私にとって油絵のキャンパスは、ドロコ遊びのできる砂場みたいなもので、子供時代の「汚したり、ブッコわしたりする快感」を味わっています。100号ぐらいの大きになると、もう楽しくてたまらず絵具を塗りたくり、削りまくる。シャツもズボンも絵具だらけで、まるで左官ごっこか悪ガキのドロコ遊びそのもので、たまらない快感を覚えます。この原稿を依頼された時は、丁度春の公募展作品を制作しており、追い込みの真っ最中でした。私のような勤め人が公募展に出品するとなれば、まったくのところ時間との戦いです。毎日2〜3時間なんとか筆を入れ、土・日曜には朝から終日頑張らないと間に合わない状態ですから、好きなゴルフにも行けません。そもそも公募展に出そうなんて、大それたことを思いついたのは「趣味で絵を何枚描いても、しよせん趣味の絵や」ということ数年指導を受けている新生紀美術の三浦先生の呟いたひと言がキッカケ。「公募展に出して落ちといで」だと。要するにイジメられておいでということだ。絵の世界では、40才はまだ青二才。毎年挑戦して10回落選してもまだ50過ぎ、まあ、10回もイジメられれば、少しはましな絵が描けるようになるやろ——と思ってやります。今回は、ボンコツの外車と古いエンジンを題材に、100号を3点制作しています。面題は「甦えるカルマンギア」と「クルマた

ちへの晩鐘——Vesper—bell」で、もう一点の題名は只今熟考中です。この画題を考えるのも楽しみの一つで、酒を飲みながら浮んでくるコトバをやたらとメモします。酒はブランデーが一番。この時ばかりは「チューハイ」も効き目がないようです。昨今の仕事のように、データとかコンセプトというウルサイものがない世界ですから、思う存分情緒的にやっております。意外に楽しいのはモチーフを取材している時で、今年は、1月から2月一杯にかけて、殆んど休日にはスケッチブックとカメラを持って飛び廻っていました。地方へ出張したついでに近傍を探索したりして結構楽しんでます。今年の夏休みは、各地の美術館めぐりを兼ねたスケッチ旅行をしたいと思っています。この原稿が掲載される頃には、公募展の発表が済んでおり、多分、落選の苦酒を舐めていることでありましょう。あゝ。



環境施設・商業施設の企画・設計・指導・監理・施工

本社 / 大阪市浪速区難波中2-2-21・〒556・☎06(643)3131(代)

■札幌 ■仙台 ■東京 ■名古屋 ■金沢 ■大阪 ■岡山 ■松江 ■広島 ■松山 ■福岡 ■神田 / ニューヨーク

株式会社 布谷

雑趣味

栗林信夫設計事務所 栗林信夫

私の趣味をと云うことで筆を取ったが、さて何を上げてよいやら現在興味が有るものはいっぱいあるが……どれもこれも少しのぞいてみた程度で趣味としてお話し出来る様なものは何もない、若い頃つりが好きで休みが取れると川釣りにそれもあまり人が入らぬ路をふみわけ地図を頼りの溪流釣り、気の合う仲間と事前の打合せが又楽しい。つれても、つれなくともその時間、何も忘れて打込めるのが又良い、しーんと静まりかえった清流との対面、風の音を聞き雲の流れを追い、その時々々の季節の香を覚ぎながら魚を追う緊迫感、若さゆえに楽しめたのちろう。家庭をもって子供が来ると、子供づれで行けるところでもないし、一人で出かける回数がへり今は、年に二、三度楽しめば良い方になった。それも、つい手近な所へ行ってしまふ、溪流釣は山歩き、リュックにかならずスコップとビニール袋を忘れず入れそ行く、山草採り、それも野スマレだ、その数三百数種と云われている。小さな芽を見つけると掘りおこし、ビニール鉢に入れ持ち帰ったのがもう十数種たまり我家の狭い庭にも春をつけてくれる様になった。それでこの頃は趣味と云えるかどうか、休みには庭へ出ることが多く我ながらおじんくさくなると娘に云われるのも無理はないと草引きなどしている。

都心から離れた郊外のことゝて今頃は木の実を喰べに朝からヒヨドリなどがやかましくやってくる、スズメなどはテン（雑種犬）のすぐそばでこぼれた御飯にありついている。テンの話をして、まだ近くに残っている雑木山で生み捨てられていたのを長男が捨てて来て、我家の犬を親と間違えたのかすっかりくっついてしまった、しかし我家の犬が先住権

をふりかざすのかいつもおどおど、こちらの顔色を見ていたそれが、我家の犬が亡くなりテンのみになった途端ぐんと落ち着き表情豊かになり、ここは我家と甘えだしたから不思議である、自分の居場所が決まることと、愛情も一身に集められると云うことは、こんなにも性格を変えるものか、子育ても原点は同じではないかと家内とも話したものだ。

話しをもどすと、我家を訪れる小鳥たちも思いがけないものを運んで来て、草取りをしていると近くには見られない木の苗が顔を出すポプラ、ひいらぎ、ひばは大きく育った。運動ぐつを干すのに採り取った枝を地面にさすと、いつの間にか芽を出してその生命力におどろかさされたりもする。

今年は好物のししとおやトマトを育てる予定である。

西海岸 10 日間撮り歩きセミナー

企画 JCD九州支部

梅雨の日本を脱出！

快晴の西海岸へ！

「特別企画理由」

いま日本の若ものたちはアメリカ西海岸発の流行の風に、敏感に反応してスポーティでカジュアルなファッション志向です。わたしたちは、そのファッション震源地を探索し直接肌を感じ目で確かめ正確にカメラでとらえて直ぐ仕事に役立てるため現地精通ガイド視察案内「西海岸撮り歩きセミナー」を企画しました。

■ 日程 6月30日(日曜日)～7月9日(火曜日)

■ 超割引サービス旅費 ￥298,000ー

船場の企画は人間の心の表現です
船場の設計は人間意識の解答です
船場の施工は人間の行動科学です
船場の監理は人間関係の追求です
船場の経営は人間の運命共同体です

株式会社

船場

都市と店舗の企画・設計施工

●大阪設計事務所

船場SC総合開発研究所

大阪市北区堂山町1-5(大阪合同ビル) 〒530

☎06(313)1008

自然の風を感じさせる空間造りを目ざして

野井成正

「あわただしく過ぎて行く日常生活の流れの中に、いつかどこかで見た様に、親しみやすく、それでいて、全く新しい驚きや楽しさを感じさせる、心ときめく時空間を、創造する」というのが、私の、空間デザインに対する基本的な姿勢であり、目標でもあります。

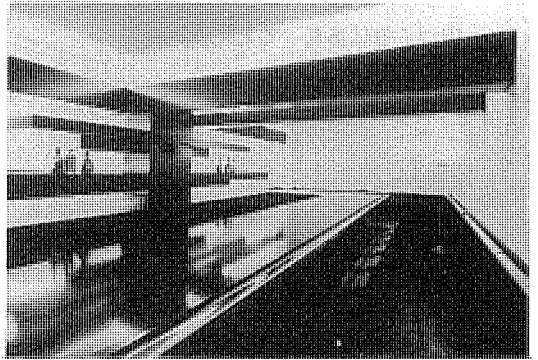
商業空間デザインを始めてから、今だに、試行錯誤の毎日ですが、以前は、自分の個性や迫力を、前面に打ち出した、フィーリング主体の空間造りが多かったのですが、最近では、空間を構成する色や形、素材を生かす、光の効果や演出に、興味をもっています。

光を、ただ単に、明るさの問題としてとらえるだけでなく、光が作り出す影の部分の微妙な変化や、ガラスを通した光の透過作用、間接照明などから、二次的に派生してくる照明効果をポイントに置いた、空間造りが多くなりました。

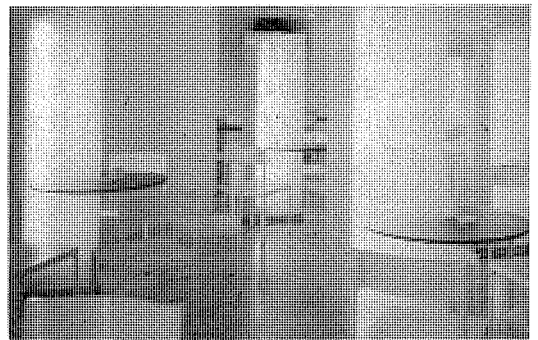
目に見える空間の演出だけでなく、きらめきのある、繊細な自然の空気感を感じさせる空間造りを、目ざしたいと思っております。



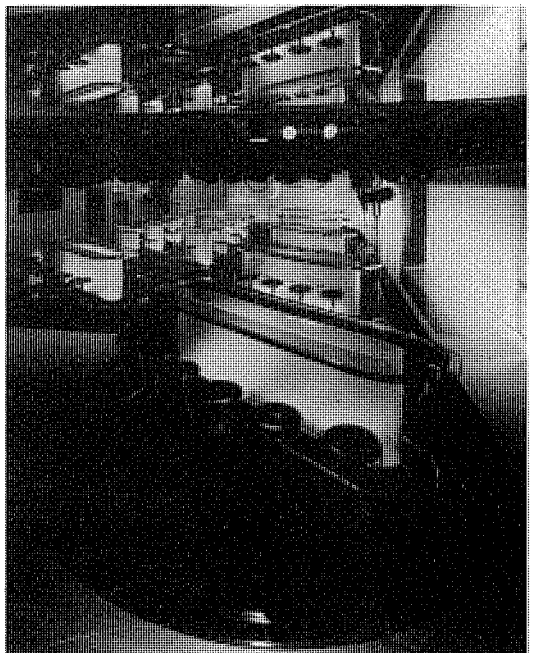
チャーリーブラウン豊中店
(アメリカンレストラン&パブ)
木梁組を生かした巨大な白い木の箱



しゅし
酒肆 上野(バー)
間接光に浮かび上がるシンメトリーな空間構成



トフィーズイン横浜ビブレ21店
(カフェレストラン)
ガラス組の照明とテーブルを一体化した光空間



バナナの気持ちはよく分かる
(ショーハウス&パブ)
照明を内蔵した回転テーブルによる動くインテリア

— 店づくりにあたって考える。 —

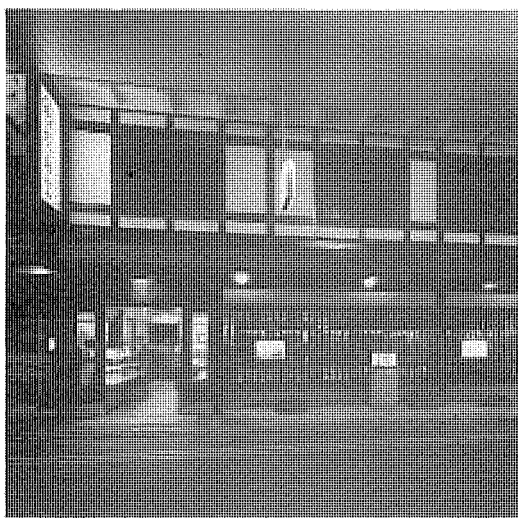
久保 茂

オーナーとの打合せや日常の会話で感じられるのは、オーナー自身のフィロソフィ・ロマンが会話のキャッチボールの中で泉のように湧き上がってくる。

確かに現在いわれている商品氾濫の時代、感性の多様化等の流れにオーナーとしてこれからの方向性やアイデンティティが顧客に対してどう訴えてゆくか益々重要になってきている。

我々はこれをどうドラマづくりとして展開してゆくか —————

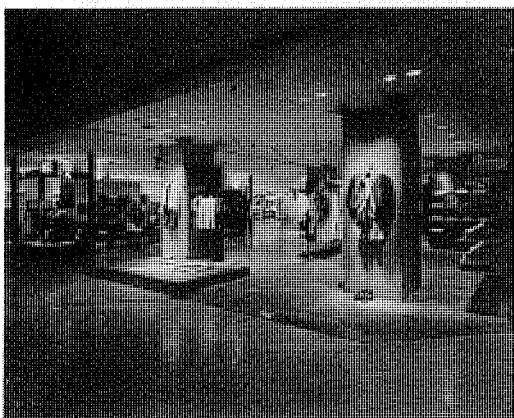
シナリオとしてのMD計画、シアターとしての環境・ゾーニング計画、商品を主人公とした大道具、小道具等の店づくりを考える。特に照明はドラマづくりの一環として最大のPOINTを置き、光と影・光のメリハリを出して主人公である商品をいかに演じさせるかを意識している。



鳩居堂（京都寺町姉小路）

香・線香・筆・硯

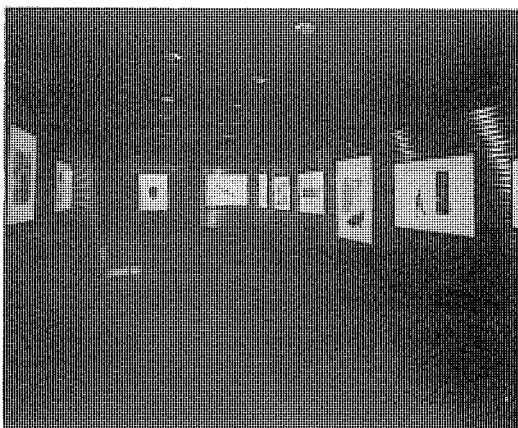
売場は間接照明・商品に集光スポットで



藤井大丸

通りと通りの交差する場での提案

商品との対話をメインとした通りでのよどみ空間
通路には基本的に照明を設置せず各コーナー
のスポットにてドラマを演出



木村光佑 パーソナルスペース

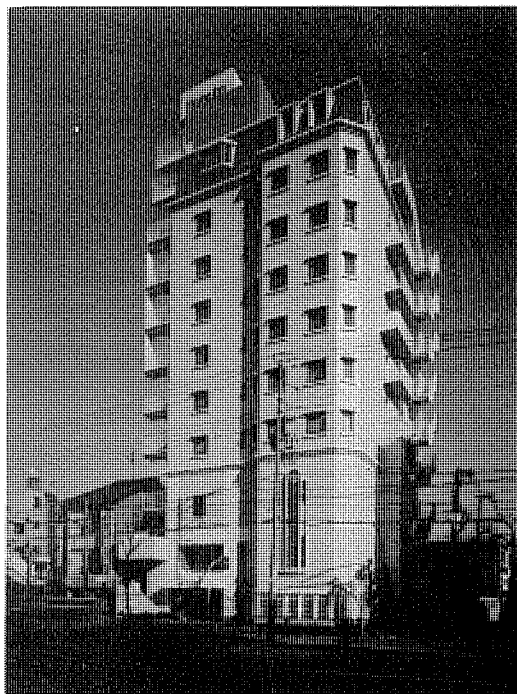
シンメトリーな空間にブラックベースで
商品を浮かび上がらせる

JCD-KANSAI 私と仕事

・街づくりとホテル

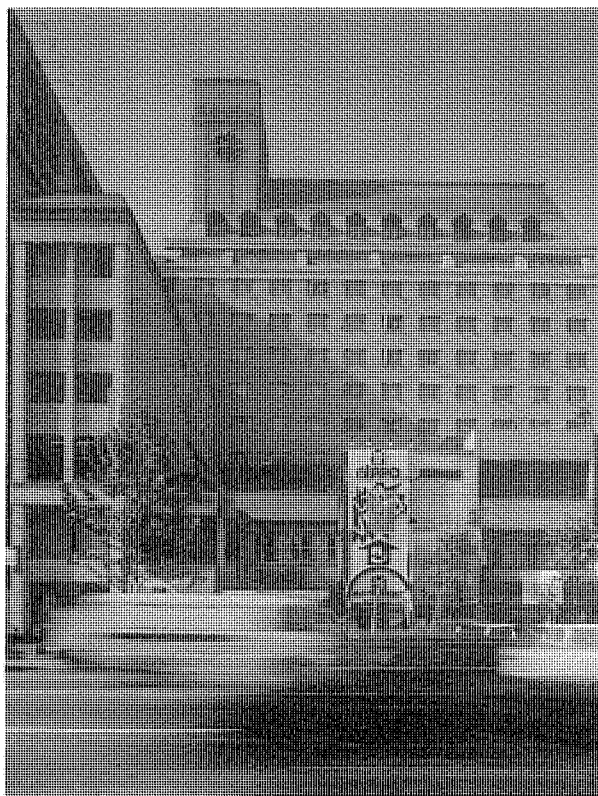
香山英行

ショッピングセンターづくりを本業としながらも最近では街づくり、つまりニュータウンの中央センター施設とか、商業を中心とした都市再開発が主たる仕事になりつつある。また一方で今までとはちがった仕事にホテルの計画がある。ホリデーイン南海の計画をはじめとし、奈良のピープルズイン“花小路”、紀伊田辺“シティプラザホテル”、“ホームイン今里”、そして近作の“堂島ホテル”、などのホテルをみても特徴のある小中型の都市ホテルである。第三次ホテル戦争と言われる大阪にあって、どのホテルも経営は順調であるところをみるとこの強烈な個性と特徴がいかに大切であるかをしみじみと考える今頃である。



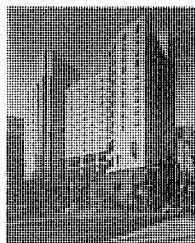
ホームイン今里

90坪の敷地の中に駐車場24台 レストラン、宴会場と多くの機能をそなえている。



堂島ホテル

8店舗の異った飲食店と部屋の広さが売りもの、ヨーロッパのエスプリをもったホテル



ホリデーイン南海大阪

3階に庭をもち、御堂筋のイチョウ並木と同調する、大阪でホテルではじめてのシースル、エレベーターであった。



紀伊田辺

シティプラザホテル

S、Cとホテルの複合型、本格的シティホテル

各委員会だより

- 組織委員会** 2月22日(金) JCDルーム
- ・月例会のスケジュール
 - ・会員拡充の件
 - ・'85年間委員会の日程について

- 組織委員会** 3月20日(木) JCDルーム
- ・常任理事会報告
 - ・会員拡充について
 - ・'85年度関西支部集会の件
 - ・5月 談話室開催の件

- 組織委員会** 4月26日(金) JCDルーム
- ・会員拡充について
 - ・理事会報告
 - ・夏季パーティー
 - ・談話室開催の件

- 合同委員会** 2月25日(月) JCDルーム
- ・新入会員拡充の件

- 資格審議委員会** 4月10日(木) JCDルーム
- ・新入会員22名分の審議行なわれる。

- 情報委員会** 5月2日(木) JCDルーム
- ・関西支部会報告 (大菅・菅野・久保田・
太田・蔭山・吉田)
 - ・理事会報告
 - ・商空間デザインコンクール報告

短 信 菅野哲爾会員新事務所設立

ティーエスデザイン事務所
〒544 大阪市生野区鶴橋3-1-88-712
☎ (06) 717-7513

第45回 J・C・D ゴルフコンペ

好天気めぐまれた早春のJ・C・Dゴルフコンペ、4組の武者が名門のゴルフコース、兵庫県吉川町ライオンズカントリー倶楽部で剣を競う、前日の大雨とうってかわったゴルフ日和、ゆったりとした美しいフェアウェイ、春風さわやかな中話しに花を咲かせながらのラウンドで、優勝は2回目の久保田博文氏(株・赤松店舗研究所)でした。

(上位10位まで)

ENTRANTS	ホワイト	ブルー	Gross	H'cap	Het	Rank
久保田博文	47	47	94	19	75	優勝
太田 貞	55	49	104	27	77	2位
蔭山 利夫	52	41	93	15	78	3位
赤松 良一	45	49	94	16	78	4位
桃田 紀男	44	52	96	17	79	5位
吉田 三郎	48	49	97	18	79	6位
嶋本 威彦	46	56	102	23	79	7位
田中 省三	59	51	109	27	82	8位
片岡 正範	48	49	97	14	83	9位
山本 正孝	53	59	111	28	83	10位

〔次回予定〕

1. 日 時 昭和60年5月24日(金)
2. 場 所 木津川カントリー倶楽部
☎ (0742) 95-0031

編集後記

J・C・D 関西も第5回を重ねましたが、2回目の編集にたずさわって、原稿依頼しました方々、多忙中にもかかわらずありがとうございました。今年度、新会員も多数入会頂き、機関誌を情報交換の場、新鮮なご意見なり、ユニークな話題をご提供下されれば幸いです。又広告協賛会社、賛助会社のご投稿もお待ちしております。

T. K